



就任にあたって

力強い未来を目指して

五霞町長 染谷 森 雄



三期目の就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

先の町長選挙におきましては、町民の皆様を始め、多くの方々から力強いご支援と、温かい厚情を賜り、無投票にて再選の栄に浴し、引き続き、町政の重責を担わせていただくことになりました。

皆様からお寄せいただきました信頼と期待にお応えするため、新たな決意と情熱をもって、全力で町政運営に取り組んでまいりる所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今、五霞町は大きな転換期を迎えようとしています。

去る3月29日には圏央道五霞インターチェンジが開通し、併せて新4号バイパスも4車線化されました。また、長年の念願であった「圏央道五霞インター周辺開発」も事業認可となり、4月2日には安全祈願祭が執り行われ、本格的に造成工事が着工されました。数年後には商業施設を含む新たな産業拠点が形成される予定であるなど、町は大きく発展する可能性を秘めています。

また平成27年度は、町づくりの指針である「第5次五霞町総合計画（平成22年度～31年度）」の後期基本計画のスタートの年であり、さらには昨年施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、2060年までの人口調査・分析と将来の展望をまとめた「地方人口ビジョン」

と、その人口分析に基づく雇用の確保や都市圏からの人口流入の促進、そして子育て支援策などをまとめた「地方版総合戦略（5か年計画）」をつくり、いわゆる地方創生を具現化していかなければなりません。本町は、平成8年6月1日に町制を施行し、来年で20周年を迎えることとなります。こうした状況の下、今後も、「小さいながらも存在価値のあるまち」「町民が誇りに思えるまち」を着実に実現し、前進していくため、次の施策を進めてまいります。

一、第5次五霞町総合計画後期基本計画の着実な推進（平成27年～31年）

一、最重要課題として、地方創生事業にリンクさせた人口減少対策への取り組み

一、圏央道五霞インターチェンジ周辺開発の促進と商業・工業・物流などの複合的な企業の誘致

一、町道5号線等のインフラ整備とコミュニティ交通本運行への取り組み

一、改正地方教育行政法に則った教育委員会との連携強化・迅速な危機管理体制の構築等

一、農業後継者育成確保のための更なる農業塾の活用・推進と10周年を迎えた「道の駅ごか」の更なる充実

一、「子ども・子育て支援新制度」

に伴う子育て支援の充実
一、番号制度の推進（平成27年10月から付番）

今後とも厳しい財政状況は続きますが、これらの実践、達成に向け、町民の皆様を始め、議会の協力をいただきながら、協働のまちづくりをさらに前進させ、「人がきらめき、だれもが安心・安全に暮らせるまち五霞」と誰もが実感できる五霞町となるよう、これからの4年間専心努力してまいりる所存でありますので、町民の皆様より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



職員から花束を受け取る町長